



豊溪中だより

《 One Step Forward (一歩前へ!) 》



発行：校長 日下石直美

豊溪中学校防災標語『忘れない 人とのきずな 命づな』

作：伊藤姫花

☆弥生（やよい）三月☆



令和元年度も最後の月となりました。都立入試の合格発表が待たれる3月2日（月）、急遽臨時休業が始まりました。本校3年生は、皆進路が決定するに至り、その後の進路事務も粛々行うことができました。学校からの様々な対応に、生徒諸君や保護者の皆様には、ご心配をおかけしております。本日の卒業式、25日の修了式は、地域の皆様のご来臨が叶わず大変遺憾ではございますが、実施いたします。

本年度最後のイベントである校内作品展は、小中一貫教育実践校の旭町小生の参観はできませんでしたが、保護者の皆様、学校評議員の皆様にはご覧いただくことができました。16日の参集日は、普段通りの学校の様子でした。学校は、生徒たちがいないと寂しいものです。つくづく実感しました。課題を出しましたが、日々健康で、安全に過ごし、4月6日の始業式を迎えられればと祈っております。

表題の「弥生」は、陰暦で三月のこと。（いやおい）が変化したものとされる。弥（いや）は、「いよいよ」「ますます」などの意味。生（おい）は、「生い茂る」と使われるように草木が芽吹くことを意味する。草木が段々芽吹く月であることから弥生となった。とも云われています。＝語源由来辞典より引用。

学校は、梅から桜にバトンが繋がったようで、花が咲き出しました。こんな時ですが、生徒たちには、締め括りに相応しい月にして欲しいと願っています。

PTA活動も定期総会で一区切りとなるはずが、書面総会となりました。原田会長様をはじめ、各委員会の皆様、ボランティア参加の皆様には、ご多用の中、各学年の活動はもちろん、教職員にもお気遣いを頂きました。『全ては子ども達のために』というPTA活動の温かい思いが満ち溢れていました。大変感謝しております。

町会の皆様、にこにこボランティア支援の皆様、青少年育成第六地区委員会の皆様、光が丘警察署スクールサポーターの皆様、関係機関の皆様にも改めて感謝申し上げます。

生徒たちのことを思い、常に見守り、活動の場を提供して頂きました。今後とも宜しくお願い致します。

校長 日下石直美

☆ 4月当初の予定 ☆

日	月	火	水	木	金	土
			4/1	2	3	4
			春季休業中		職員準備出勤	
5	6	7	8 給食開始	9	10	11
春季休業日終	始業式 平常登校	入学式 10時開式	①②学活 ③ガイダンス ④学活 ⑤⑥歓迎会	特別時間割	午前授業 午後 全校保護者会	

在校生の保護者様

3/23以降、新型コロナウイルス対応により、当初の予定が変更になる場合もありますので、練馬区や学校からの連絡には、ご注意願います。

《PTA 会長祝辞》

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。PTAを代表してお祝い申し上げます。

皆さんとは3年前の入学式で初めて会いましたね。とても初々しい姿が思い出されます。新入生代表で挨拶をした林さんには幼稚園児だった頃を知っているのですね。立派に成長した姿を見られてうれしかったです。そして、堂々とした挨拶。感動しました。

さて、インターネットの普及で色々な情報が簡単に調べられるようになりました。とても便利ですが、近ごろは意図的に虚偽の情報が流す、所謂フェイクニュースが横行していますが、一つの意見に全員が傾く傾向が見られるようになっていきました。互いの意見を話し合います。それが直接顔を合わせず、反対意見を持つ人達の批判ばかりです。それが過激な意見を合わせず出まします。皆さんにはぜひ情報をしっかりと判断して自分な意見を出したいと思っています。皆さんの一生の友が見つかるかもしれません。SNSは他人を傷つけるためのものではありませぬ。有意義に利用してください。

自分自身が中学生だったころを思い出してみました。あの頃、将来の職業について全く定まっていませぬでした。考えてもいなかっただ、の方が正しい表現かな。将来の目標が見つかっていない人は、それに向かって大いに努力してください。まだ見つかっていない人はこれから大いに悩んで、一生涯追い求められる何かを見つけて欲しいと思います。応援していますよ。

教職員の皆さん、三年間大変お世話になりました。学年の枠を超えすべての先生に指導いただきました。本当に感謝申し上げます。

地域の皆さん、今まで子ども達を見守っていただき感謝します。来年度からは私もみなさんと共に子ども達を見守っていく立場になります。よろしくお願ひします。

保護者の皆さん、色々な思いが交錯していることと思います。本日をもって中学生の保護者を卒業の方もいらっしゃるでしょう。本日は誠におめでとうございませぬ。また、私事ですが、4年間務めたPTA会長を今年度で退きます。行き届かないところがあったかと思いますが、歴代役員をはじめすべての会員の皆さんに感謝します。

大きく羽ばたく巣立ちの日立ち会えたことを光栄に思います。

令和2年3月19日
練馬区立豊溪中学校PTA会長 原田 幸徳

《校長式辞》

開校70周年記念花壇の芝桜が咲き始めました。見渡せば、学校の桜も少しづつ咲き始めています。今日こどもとより、保護者の皆様も安堵していることと拝察いたします。ただ今、一人一人に卒業証書を手渡ししました。豊溪中学校を卒業していく四名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、かけがえのない大切なお子様が、無事、中学校三年間、そして九年間の義務教育の課程を修了し、新たに歩み始めますことを、心よりお祝い申し上げます。

練馬区長前川耀男様からのお祝いの言葉は、2・3年生の玄関前に掲示していただきますので、ご覧ください。

さて、新型コロナウイルス感染症が世界的流行と表明され、その対応は、学校生活にも求められました。皆さんは、進路が決定し、卒業に向かって、一段と成長する時でしたが、今日の姿を見て安心しました。大変立派です。

日々、感謝の気持ちを持ち、挨拶を忘れず、健康第一で、頑張ってください。この後の話は、印刷物に代えさせていただきます。終わります。

卒業という節目に当たり、はなむけの話として、公益社団法人ACジャパン全国キャンペーン「2020年に向け、日本を考えよう」というテーマの四作目を紹介します。国際交流をテーマにした『認め合うことが、チカラになる。』という作品

『落語って、海外でも通用する笑いだと思います。文化をリスペクトする人がいる。人類のためにこの漆文化、残してほしい。未来を想う人がいる。性別や国に関係なく、尊敬しあうことが非常に大切です。認め合うことが、チカラになる。2020年、日本を考えよう。』

伝統を大切にす、想いはいま、国境を越えて受け継がれています。伝統をリスペクトし、受け継ぐことを決めた外国人の方々と、その方々を受け入れ、ともに歩む人々。お互いの価値を尊重し合う人々の姿をとおして、多様性を大事にして、認め合うことが未来を切り拓いていくチカラになる、という前向きなメッセージです。

このテーマに出合い、保護者の皆様のご協力を頂いて、TGG東京英語村を二回も体験させることができました。区内では、全校生徒が参加するのは、豊溪中だけという、注目を集めています。次は、その成果を皆さんの頑張りをもって検証していかなければなりません。

また、ICT環境整備推進協力校として、練馬区教育委員会の全面的なバックアップのもと、タブレット型パソコンの活用にも取り組んでもらいました。本校は、次年度その取り組みや成果を発表することになっていきます。

ますます身近になる国際社会の中で、皆さんは、様々な経験を生かして「なくしてはならない国際人になる」のです。

豊溪中は、地域と共に歩む学校です。家族との絆、友人との絆、地域との絆を大切に、ボランティアマインドを自分自身で育てていってください。2020年、皆さんは、中学校を卒業します。それぞれの場所で、成長されることを願っています。そして、東京地域未来塾の講師として後輩達のために力を貸して下さい。

結びに、この三年間、健康であったか、心豊かであったか、そして、よく学んだか、振り返って下さい。「ONE STEP FORWARD」夢を持って歩いて下さい。皆さんには、たくさんの出会いが待っています。

卒業生の前途を祝し、式辞といたします。

令和2年3月19日
練馬区立豊溪中学校長 日下石直美

【表彰等の記録】

1. 第11回中学生「東京駅伝大会」
記録賞 男子1区(2.195km) 記録7分7秒 三宅 亮

第72回練馬区民体育大会ロードレース競技
3km 中学2～3年男子の部 第1位 10分15秒 三宅 亮
2. 防災標語コンクール
伊藤 姫花「忘れない 人とのきずな 命づな」
3. 第22回 長塚節文学賞 入賞
下山 椋汰
「空見れば飛行機雲が一筋に するどく線をぼくもつくろう」
小嶋 琉聖
「ふうりんがちりんちりと歌ってる 夏しか聞けないすずしい歌は」
大崎 橙子
「ありがとう 言われたときはうきうきと 心と体が舞い踊ってる」
4. 漢字検定
3級 1年 谷口 真帆 2年 富沢 静流 3年 橋本拓希
4級 1年 熊木 朝美 広橋 歩
5級 1年 四十物 宗大
5. 第69回東京都公美展 (学校だより9号に記載)
6. バスケットボール冬季研修大会
優秀選手賞 成田 樹憂斗 篠原 桜萌 田口 優月
7. 練馬区読書感想文コンクール 佳作 荒木 心香
8. 練馬区生徒表彰
橋本 拓希 (野球) 長瀬 稜典 (野球) 鈴木 里菜(水泳)
9. 体育優良生徒
橋本 拓希 前田 珠希
10. 産業教育奨励賞 ※東京都産業教育振興会より
篠原 力太 阪本 理子